

感謝 絆 希望

～夢は夢に非ず～

校長 四ノ宮 和仁

二十四節季の「雨水」も過ぎました。「雨水」とは冬であれば雪になったものも雪にならずに雨になる、それだけ気温も温まった時期だそうです。コロナウイルス感染症のワクチン接種もいよいよ始まりました。非常事態宣言が解除され、街にも、お店にも人々が戻り、活気が満ちあふれる日が本当に待ち遠しく思われます。我々は1年間コロナに耐えてきました。その中で街では人が往来し、行きたい時に行きたい所やお店に行くことができ、学校では授業や行事が今まで通り行える、そんな当たり前の「自由」がどれだけ「有り難い」ことか我々は身に染みて感じるようになりました。

「自由」とは幕末から明治にかけて活躍した、壱萬円札でおなじみの福沢諭吉が作った言葉とされています。封建制の日本には「自由」はありませんでした。必要もなかったのかもしれませんが。その当時にアメリカへ留学した諭吉が触れた「FREE」の言葉に「自ラ由シトス(ミズカラヨシトス)」という日本語をあてて訳したというものです。簡単に言えば「やりたいことができる」ということです。「職業の自由」「結婚の自由」すらなく、就職や結婚など人生にかかわる様々な自由が認められない当時の日本からすれば、自分の意志で自分のやりたいことができることがとても素晴らしいことに思えたに違いありません。そうです。自由とはやらないことではなく、やることなのです。

そして「有り難い」は、存在が希である、なかなかありそうもない、珍しい、(広辞苑)とあります。ということは当たり前と思っていたコロナ前の日常は「自分がやりたいと思うことができるという状態はなかなか手に入れることができない珍しいこと」ということになります。我々の先輩たちが長い時間と経験から作り上げ、続けてきた日常文化はなかなか手に入れることのできない珍しいものなのです。ならばそれを手放してはいけません。すべてを元に戻せとは言いません。それでは成長がありませんが、戻さなければならないものは取り戻す努力をしなければならないと思います。

「感謝 絆 希望」のテーマを掲げて、卒業式の練習が始まりました。練習最初6年生に対して、この練習を通して変わって欲しいと話しました。変わるとは成長すること。先生達から色々と指導を受けるだろうが、「自分にはできない」「無理」「自分はそんな柄じゃない」と小さな殻に閉じこもるのではなく、今までの自分から大きく変わるチャンスとして受け入れ、吸収して大きく成長して欲しいと。

成長するのに一番の妨げは先程も言った、誤った「自我」の意識です。「自分はこんな人間だ」なんて。たかだか12年くらいしか生きてなくて、自分なんてわかるはずがありません。自分を知ることくらい難しいものはないのです。評価は他人がするものです。評価を怖がってはいけません。評価と成長は一体です。他人からの評価を受け入れた時に成長が始まります。しかし今までの自分と異なったことに挑戦しているのですから痛みや辛さ、不安も感じます。更に「何で自分がこんなことをしなければならないのか」「自分は不幸だ」と思うこともあるでしょう。実はそう思っているその時こそが成長している時なのです。自分の思い通りに、まさに自由を謳歌することも大切ですが、それは本当の力をつけてから楽しめばいいのです。今は自分の思い通りにいかないことに悩み苦しむことを経験し、それに真正面から取り組むことの方が自分の成長のためには大切なのです。必ず大きく成長した自分と出会うことができるでしょう。そんな思いで6年生に話したのですが、これは何も6年生に限ったことではなく、我々大人にも言えることかもしれませんね。

これがこの時期の学校の日常文化なのです。こういうことを体育館に子どもを集めて、人生の先輩である先生が思いを語るのです。しかし、まだ今までのように時間をかけてとは行きません。感染予防も忘れてはいけません。6年生の練習も学年全員を集めての練習はできません。2クラスずつの練習が今は限度です。だからと言ってやらないのではありません。できる範囲で、できることをやっていくのです。それが自由を守っていくことになると思います。それが学校を守っていくことになると思います。それが学校の夢だと思えます。この夢は夜見る一夜限りの夢ではありません。この夢は実現させなくてはなりません。まさに私の座右の銘「夢は夢に非ず」です。

今、職員玄関にお雛様が飾られています。これも本校の日常文化です。



あゆみについて

6年生は、卒業式前日の3月18日に、1年生から5年生には、修了式の3月25日にお渡しします。今年度はコロナウイルスの影響で年2回の「あゆみ」となります。活動への制限も様々ある中で、学校生活と学習に子どもたちは力いっぱい取り組んできました。地域・ご家庭の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

あゆみをご覧になり、1年間のお子さんの成長とがんばりを認め、励ましていただくとともに、新たな気持ちで進級に向かえるよう、ご家庭でもお話しください。

今回は9月以降の生活と学習の様子を評価しています。また道徳と総合的な学習の時間、3・4年の外国語活動については年間を通しての評価となっています。

学区内転居の場合には

西鶴間小学校の学区内で転居される方は、必ず担任までお申し出いただき「学区内転居届」を提出して下さるようお願いいたします。また、各地区の校外委員の方へも「転出すること」と新しく転居先の地区へ「転入したこと」を連絡し、新しい登校班を決めていただいでください。

なお、同じ地区内で登校班が変わらない場合でも、住所が変わる場合は、必ず提出して下さるようお願いいたします。

「放課後や休日の遊び」 お子さんが遊ぶ相手、顔と名前をご存知ですか？

春が近づき、日が長くなってきました。

学年末のこの時期、夕方遅くまで遊んでいて、トラブルに巻き込まれるケースがあります。

緊急事態宣言下ではありますが、日頃、お子さんが誰（顔と名前）とどこで遊んでいるのか確かめるとともに、次のことについて日々の声かけもお願いいたします。なお、不要不急の外出は避けるよう、ご家庭でもご配慮ください。

- 遊ぶ場所、相手、帰宅時間を家の人（大人）に伝える。
- 暗くなる前、5時には家に帰る。
- 公園で一人きりで遊ばない。相手に応じて適切な距離をとる。
- 困ったことがあったら、すぐに家の人に伝える。

※大きなトラブルの場合は、
まず警察へ連絡を
大和警察署 261-0110

3月の主な行事予定

★相談員との相談日↓

日	曜	主な予定内容	相談日
1	月	さようなら6年生(朝~1校時 放送)	
2	火	6年生卒業式VTR収録①(1校時 体育館)	
5	金		○
8	月	チャレンジプログラミング教室(2~6年 5校時終了後)	
9	火	6年生卒業式VTR収録②(3校時 体育館)	○
11	木	グラリ3分一斉行動(予定)	
12	金	卒業証書授与式予行(3・4校時)	○
16	火	6年ハーベスト配布	
18	木	【給食最終日】 【普通日課4校時】(1年~4年、6年) 卒業証書授与式前日準備(5校時、5年生)	
19	金	第54回卒業証書授与式 ※1~5年生は家庭での学習(登校しません)	○
20	土	春分の日	
22	月	【短縮日課4校時】	
23	火	【短縮日課4校時】	○
24	水	【短縮日課4校時】	
25	木	令和2年度修了式・児童とのお別れ会 【短縮日課3校時】1~4年 【短縮日課4校時】5年	
春休み 3月26日(金)~4月4日(日) ※入学式準備のための新6年生の登校はありません。			

※ 放課後ひろば・寺子屋やまとは17日(水)が今年度最終日です。詳しくは放課後だよりをご覧ください。
 ※ 新型コロナウイルス対策により、予定が変更される場合があります。直近のおたより等でご確認ください。

19日(金)の家庭学習について

19日(金)は6年生の卒業式です。例年はお別れ朝会と、式への参加(5年生のみ)のため、登校日となっていました。今年度は家庭での学習の日となります。ともに過ごした6年生に思いをはせ、各家庭で学習をして過ごしてください。

なお、この日は登校しませんが、出席扱いとなります。

児童とのお別れ会について

西鶴間小学校を去られる先生方とのお別れの会を、25日(木)の修了式に続いてテレビ放送で行います。

については来年度4月の離任式は行いませんので、あらかじめご承知おきください。

なお、離任者については、4月にお知らせします。

【4月当初の主な行事予定】

- 5日(月) 始業式・着任式 入学式
- 6日(火) 【短縮日課4校時】集団下校(4校時)
- 7日(水) 給食開始 1年生下校指導①
- 8日(木) 1年生下校指導②
- 13日(火) 開校記念日
- 14日(水) 代表委員会
- 19日(月) 避難訓練
委員会活動(6校時)
- 20日(火) 1年生プレ給食
- 21日(水) 1年給食開始
- 23日(金) 1年交通安全教室
- 28日(水) 【普通日課4校時】研究会のため



※ このほか学級懇談会及び家庭訪問を予定しています。期日・内容については改めてお知らせします。
 ※ 2月末現在の予定です。今後の状況により変更となる場合があります。